

# 医療労働者

医療・介護・福祉労働者の生活と権利、国民の命と健康を守る

購読の申し込みは  
**日本医労連へ**

購読料 年間1,500円(送料込)  
(組合員の購読料は組合費に含む)

送金口座 中央労金荒川支店(普通預金)1123296  
郵便振替00160-6-84866

ホームページ <http://www.irouren.or.jp/>  
電子メール [n-ask@irouren.or.jp](mailto:n-ask@irouren.or.jp)

(昭和36年9月15日)  
第三種郵便物認可

## 国民のいのち・生活が守られ 平和で人間らしく働ける社会に

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は、10月以降、新規感染者が減少しているものの、まだ収束せず2年が経過しようとしています。自宅療養者のうち、中等症で入院が必要であるにも関わらず自宅療養を余儀なくされた方が10人に1人という状況となるなど医療体制がひっ迫するなかで、懸命に国民のいのちと健康を守るため奮闘されている皆さんに心からの敬意を表します。

11月10日、第2次岸田内閣が発足しました。岸田政権は、安倍・菅政治が国民から見放され、退場を迫られたもとで、安倍・菅政治への国民の批判・不満を取り込んだ「違い」を打ち出さざるを得ませんでした。しかし、政治の本身は、安倍・菅政治そのものです。自民党総裁選で岸田首相は「新しい資本主義 新自由主義からの転換」を打ち出しましたが、実際に進めていることは、20万床の病床削減と公立・公的病院の統廃合など社会保障切り捨てを続けることであり、労働者派遣法の度重なる改悪をはじめ労働法制の規制緩和路

線を見直す姿勢はありません。先に行われた総選挙の結果、改憲勢力の議席数が国会発議に必要な定数の3分の2を超え、憲法9条改憲への危険な新局面も生まれています。岸田首相は、憲法改定の実現に向け「党内の体制を強化すること」「国会における精力的な議論を進めること」を指示するなど、前のめりの発言を繰り返しています。「敵基地攻撃能力の保有」、GDP(国内総生産)比2%への防衛費の増額など、自衛隊を海外派兵型の軍隊に

くりかえる大軍拡が進められようとしています。11月26日に閣議決定した補正予算では、防衛費が過去最大の7738億円で、当初予算の歳出額と併せて初めて6兆円を突破しています。医療・社会保障を切り捨てて毎年防衛費を増額し、いのちを軽んじる政治からの転換が今こそ求められています。

この長期化しているコロナ禍に対し、安倍・菅政権は的確な対応をとることができ

ず、私たち医療・介護現場からの要請もまともに受け止めること

もせず、ついには「医療崩壊」を引き起こし救えるはずのいのちが救えない事態にもなりまし

た。この痛苦の経験を二度と繰り返さないためにも、新「いのち署名」を前面に掲げ、新たな感染症の拡大や自然災害など不測の事態となっても、誰もが必要時に必要な医療を受けられる医療体制の充実・強化を求めています。

しに、医療・介護・社会保障の拡充は望めません。日本医労連を、

国の制度・政策を動かす影響力を持つ大きな組織に発展させるとともに、人間らしく働き続けられる賃金・労働条件の確立、憲法が活かされる職場・社会を目指す1年とするため、全組合員一丸となって奮闘しましょう。

組合員の皆さんのご健勝とご活躍を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお願ひ致します。



日本医療労働組合連合会  
中央執行委員長  
**佐々木悦子**

合併号のため、「脈路」はお休みします。

**2022年 介護要求実現！ 全国学習交流集会@WEB**

日時:2022年2月20日(日) 時間:13:30~17:00 (13時よりZoom接続開始)

記念講演 **篠崎 良勝 さん** (城西国際大学准教授) 「介護の専門性を学び、その専門性の対価にふさわしい報酬を考える(仮題)」

参加申込 下記URLから、事前登録を行って下さい。 ID 87621874498 パスワード 202693 登録後、確認メールが届きます。 締切り:2022年2月14日(月)

介護をする人、受ける人がともに大切にされる介護保険制度へ

日本医労連介護対策委員会 ☎03-3875-5871 / [mail:n-ask@irouren.or.jp](mailto:mail:n-ask@irouren.or.jp)

**2021年度春 看護要求実現 全国交流集会(Web)**

参加費は無料です

開催日 2022年2月2日(水)13:30~17:00 (13:00~Web接続開始)

方法 Web(Zoom)開催 ※要事前登録 ID:833 1352 2270/パスワード:220202

内容 記念講演 **武井 麻子 氏** (東京都立大学特任教授、日本赤十字看護大学名誉教授) 「看護労働・感情労働・メンタルヘルス」(仮題)

特別報告 ①大運動会名の取り組みについて(全医労) ②コロナ禍での組合活動報告(北海道)

参加の際は、全国組合・県医労連まで参加の旨を連絡し、参加申込は上記の「ID/パスワード」または「QRコード」から必要事項を入力の上「登録」をお願いします。

※登録完了後、申込みに関する確認メールが自動送信されます。しばらく経っても返信メールが届かない場合は、迷惑フォルダをご確認ください。万一送信メールが届かない場合は、登録アドレスの再入力可能性があります。お手数ですが、必要に応じて再申込みをお願いいたします。

申込締切 2022年1月25日(火)

お問い合わせ 日本医療労働組合連合会 TEL 03-3875-5871 FAX 03-3875-6270 MAIL [n-ask@irouren.or.jp](mailto:n-ask@irouren.or.jp)



# 一人の仲間への攻撃も 産別の方で守り抜く



## 産別強化・地域との連帯で

日本医労連は、12月14日、争議組合交流会議（第44回争議対策会議）を開催し、5全国組合12県医労連48人（オンライン参加含む）が参加しました。争議組合の紹介とたたかひの交流を行いました。

争議対策会議は、争議勝利をめざし奮闘する仲間を産別全体で支え、全ての争議の勝利解決をめざした意思統一と、争議組合同士の交流を目的に開催してきました。今年はこの間の会議内容にあわせて会議名称を変更し、二部制で開催しました。第一部では、問題提起と争議組合の紹介、第二部は分散会を行いました。

開会にあたり、佐々木悦子中央執行委員長があいさつを行いました。佐々木委員長は日々の奮闘に敬意を表したうえで「安全・安心の医療・介護・福祉の実現をする上でも争議や労使紛争の早期解決は重要。全ての争議の早期解決に向け、日本医労連全体として奮闘しましょう」と呼びかけました。

米沢哲組織共闘局長の問題



分散会の様子

提起では、争議勝利をめざしたたたかひの産別基本方針として、以下の4点を提起しました。

- 1、「一人の仲間への攻撃も産別の方で守り抜く」立場で仲間たちへの支援と連帯行動を強化する。
- 2、闘争を支える財政支援に取り組み、争議を産別全体で強化する。

3、労働組合の日常活動や組織の拡大強化を行い、たたかひの中で仲間を増やし、争議に勝利し、要求を前進させた経験に学び広げる。

- 4、労働組合への不当労働行為は放置せず、断固として反撃し、正常な労使関係を構築する。学習を重視し労働組合の基礎的力を高める。

争議組合の紹介では、20の争議組合がこの間のたたかひの経過と争議勝利にむけた決意、支援の呼びかけやお礼等をそれぞれ行いました。争議組合の訴えには参加者から大きな支援の拍手が寄せられました。

第二部は、4グループに分かれ、それぞれの争議の成果

や教訓を交流しました。たびや重なる不当労働行為に一人立ち向かっている悩みが仲間からうちはげられると、いくつもの争議経験のある中執から「組合の見え方で、まずは一人でいいから仲間を増やしていこう。必ず見ている人がいるから一緒にがんばろう」と激励され、「元氣もらった」と笑顔になる場面もありました。

### 係争中及び最終結組合（発生日順）

#### ■係争中の事件

【全JCHO】相模野病院不当転勤事件【北海道】恵和会労働組合・不当労働行為事件【神奈川県】東横恵愛病院労働組合・雇止め事件【広島】広島厚生事業協会府中みくまり病院労働組合・不当労働行為事件【全医労】武蔵支部・不当労働行為事件【北海道】恵和会労働組合・損害賠償請求事件【北海道】恵和会労働組合・損害賠償請求事件【愛知】南医療生協労働組合・不当労働行為事件【全医労】九州医療センター支部・不当労働行為事件【青森】つがる西北五広域連合職員労働組合・不当労働行為事件【沖縄】育成福祉会職員労働組合・不当労働行為事件【岐阜】シンシア高

山フロックスユニオン・不当労働行為事件【東京】厚生荘病院労働組合・不当労働行為事件【千葉】松戸市立医療センター労働組合・不当労働命令事件【千葉】千歳会労働組合・不当労働行為事件【大阪】北野病院労働組合・不利益変更事件

#### ■最終・終了事件

【北海道】北海道医療一般労働組合・不当転勤事件【神奈川県】個人加盟労働組合・不当解雇事件【佐賀】希望の家労働組合・地位確認等請求事件【神奈川県】個人加盟労働組合・不当労働行為事件【大阪】済生会千里病院労働組合・違法当直差額賃金請求事件【沖縄】沖縄県医療福祉労組飛謝川の里分会・地位保全訴訟

### 2021年度 夜勤実態調査記者発表

# いのち守りたいから！ 看護師増員は急務



日本医労連は、12月7日、厚生労働省内で、「2021年度夜勤実態調査」結果の記者発表を行いました。調査は、2021年6月の勤務実績を基に357施設・2729職場からの集約結果です。

冒頭、佐々木悦子中央執行委員長は、「看護職員の多くが長時間労働を強いられている。効率重視ではなく、安全面や健康面への配慮を求めたい」と強調し、人員増とともに、長時間夜勤に対する労働時間規制と夜勤回数の制限を求めました。続いて調査の概要を松田加寿美中央執行委員長が報告しました。

#### ●2交替病棟 過去最多に

8時間以上の長時間勤務となる2交替病棟の割合は、44%（前年調査42.7%）で過去最多。そのうち、16時間以上の長時間夜勤は病棟数の52.7%（52.5%）、看護職員数の52.1%（51.5%）にのぼりました。

夜勤日数では、看護師確保法・基本指針に抵触する「月9

日以上」の夜勤は25.1%（24.8%）、2交替職場で「月4.5回以上」は40.1%（35.6%）でした。特にICU（集中治療室）・CCU（冠疾患集中治療室）等では、「3交替」38.2%、「2交替」61.2%で突出していました。また、夜勤協定「有」は65.7%にとどまり、勤務間インターバルについて、協定「有」は14.5%で、多くのところで協定未締結となっていることを報告しました。

#### ●現場の実態訴える

続いて、全医労の松本よし子副委員長が「国立病院は97病院2515床がコロナ病床になっている。20年度148人、21年度171人を看護師不足の中から派遣している。休憩中もPHSを持たされ、休憩中でもPHSを持たされ、看護師の疲弊も限界」と訴えました。全百赤の五十嵐真理子委員長は、「看護師が複数の病棟で夜勤を掛け持ちして、なんとか職場をまわっている」と実態を訴えました。

また、始業前残業調査の結果、約半数の職員が夜勤の始業1時間前から勤務している実態を訴え、「安全・安心の医療実現のためにも、人員増を」と強く求めました。



2021年度 夜勤実態調査 記者発表

### 月刊「医療労働」12月号

夜勤実態調査結果が掲載されています。



夜勤実態調査結果はコチラからご覧いただけます



2月1日～2月28日

積極的な  
エントリーを

最低賃金生活体験

チャレンジャー募集



日本医労連青年協議会は、最低賃金引上げに向けた運動をさらに進めるため、最低賃金生活体験に下記のとおり取り組みます。積極的なエントリーをお願いします。

1. 期間・スケジュール

2022年2月1日～28日

- 2月1日 体験開始
2月中旬 中間報告会
2月28日 体験終了

※3月に報告会を予定しています。

2. 方法

地域別最低賃金をもとに算出した月額から、住居費や税、社会保険料等の固定費を差し引いた金額で1カ月間生活を行います。毎日の食費や交通費など、使った費用は家計簿用のフォームに記録します。

3. チャレンジャー募集!

下記のフォームから必要事項を入力し、エントリーを行ってください。

参加登録はこちらから



4. エントリー締め切り

2022年1月15日

5. エントリー後の流れ

エントリー終了後、登録メールアドレス宛に、案内と日々の家計簿入力用URLを送ります。1月16日には、「最低賃金生活体験キックオフ集会」のWeb開催を予定しております。集会にもぜひご参加ください。

最低賃金生活体験

キックオフ集会に
参加しよう

1月16日
13:00～15:30

WEB開催

参加登録は
こちらから



トラ年 クロスワード トライ!
【問題】二重ワクの5文字をうまく並べて、できる言葉は?
(ヒント=正月飾りです) 【作/モロズミ勝】
 crossword puzzle grid with tiger illustration

ヨコのカギ

- 1 虎の威を借る動物
3 虎が死して残すもの
5 春の七草のスズナのことで
6 洗いは皮をむいて干します
7 虎が鋭い目で獲物を狙っている様子
10 虎退治をしたと伝えられる武将
14 首都はオタワ
15 その場所に行って見て調べます
17 家屋の敷地のことで
18 内輪の親しい者だけである祝い事
20 冬季に仕事や授業を休みます
22 魚へんに喜と書いて?
24 画家・絵師の古風な呼び方
25 スカイ……
26 いたずらっ子の呼称。……大将
27 正月を代表する食べ物

タテのカギ

- 8 霧が晴れ……が開ける
9 フーテンの寅さんを演じた俳優
10 一方的な恋心
11 損して取るもの
12 シャイな性質です
13 展示会や特売会などの行事
16 「流石」の読み方は?
19 尾田栄一郎の大人気海賊漫画
21 欧州連合の単一通貨
23 紙幣に入っています
25 金髪。さまざまな種類があります
28 原子番号7、元素記号N
30 「海鼠」って読めますか?
32 ……巻きはマフラーのことで
34 自分の所属する会社。……製品
36 桃……三年柿八年
37 ねぎをしょってくることもある?
38 じゃんけんの石
40 桜とともに日本の国花

おしえて
みんなのこと

機関紙「医療労働者」をご愛読いただきありがとうございます。次号企画として、簡単なアンケートを実施しております。下記QRコードからご協力をよろしくお願いいたします。なお、皆様の回答を紙面に掲載させていただく場合がございますのでご了承ください。

回答期限 2022年1月17日
設問数 5問 (所要時間5分)

- 問1 コロナが明けたら、どこに行きたいですか? (選択)
問2 機関紙「医療労働者」の過去の記事を医労連HPでダウンロードできることを知っていましたか? (選択)
問3 組合の企画・イベントで楽しかったものは何ですか?
問4 あなたが組合に入った期間の中で、組合が勝ち取った嬉しい成果を教えてください!
問5 2022年トライしたいことは何ですか?



いつも働く私達を守って頂きありがとうございます。不安なとき、組合は気軽に話を聞いてくれる先で、心の支えになっています。
(兵庫・匿名希望)
●各単組の賃金交渉の報告が届きます。各々の難しい交渉が見られ張りましょう!
(滋賀・若山義弘)
●クリスマスツリーを買いました。息子(5才)は大喜び。自分の新しい靴下を2つ、ツリーに飾りました。「サンタさんは小さい靴下でもプレゼントを入れてくれるの?」と聞くと、「大丈夫」と自信満々でした。
(青森・成田美穂子)
●東海・北陸ブロック第1回民医連・生協労組Web交流会が開催され、ブロックの会議や交流会は初めてなので緊張しました。参加者の多くが労働組合の専従者でしたが、司会をされた愛知医労連の林さんとは旧知の仲でしたので最後まで安心して楽しく参加できました。
交流会では近頃の労働組合の活動の内容、闘いの進め方など数多くの貴重な経験を知り、さらには多くの参加者から励ましの声を頂き、元気をもらいました。参加したことでこれからの組合活動の前進のための貴重な宝を獲得し、近頃でもプレゼントを入れてくれるの?」と聞くと、「大丈夫」と自信満々でした。
(青森・成田美穂子)
●東海・北陸ブロック第1回民医連・生協労組Web交流会が開催され、ブロックの会議や交流会は初めてなので緊張しました。参加者の多くが労働組合の専従者でしたが、司会をされた愛知医労連の林さんとは旧知の仲でしたので最後まで安心して楽しく参加できました。
交流会では近頃の労働組合の活動の内容、闘いの進め方など数多くの貴重な経験を知り、さらには多くの参加者から励ましの声を頂き、元気をもらいました。参加したことでこれからの組合活動の前進のための貴重な宝を獲得し、近頃でもプレゼントを入れてくれるの?」と聞くと、「大丈夫」と自信満々でした。

【パズル解答】
1768号の答えは「ポイントセチア」でした。
正解者の中から抽選でクオカードを贈呈します。
【応募方法】
①組合(病院)名、②職種、③氏名、④郵便番号、⑤住所を記入し、解答を1/17(月)までにご応募ください。「読者のページ」もご寄稿下さい。
【応募先】
〒110-0013 台東区入谷1-9-5
「日本医労連教育宣伝局」FAX: 03-3875-6270
e-mail: n-ask@irouren.or.jp



### Profile

かやま りか 1960年生まれ。東京医科大学卒業。専門は精神病理学。現在は立教大学現代心理学部教授、神戸芸術工科大学大学院や甲子園大学心理学部の客員教授を務める。精神科医として心の問題を中心に、社会問題についても多くのメッセージを発信している。著書に「精神科医・香山リカのわかりみが深いココロの話」(白夜書房)、「明日がちょっと楽しみになるコツ 友だちのひみつ」(小学館クリエイティブ)など多数。

# 新春インタビュー

## 精神科専門医 香山リカさん

# 「自己責任社会」変える年に

新型コロナウイルスの感染拡大から約2年。心置きなく古里に帰省したり、友人と会って会話を楽しんだりすることが難しくなっています。仕事の面でも、長引くコロナ禍で「先が読めない」状況が続き、心理的なストレスは労働者のメンタルヘルスに大きな影響を与えています。私の診察室にも、強い不安感を抱いて受診する人が少なくありません。

コロナ以前は、労働者が上司に注意されて落ち込んだ時に同僚から声をかけられたり、先輩からアドバイスを受けたたりして、気持ちを切り替えることができました。しかし、リモートワークが急速に進み、そういうスモールトゥーク(雑談)が難しくなりました。うまく気持ちを切り替えられず、「オンライン会議後

## 「自助」が追い詰める

会社に改善を求めたりする(公助)と発言し物議を醸しました。私は「自助」という自己責任論が患者さんを追いつめていく面があるのではないかと考えています。多くの人が思い悩んでいるのに、政府のコロナ対策は一時のきで場当たり的なものばかり。感染拡大第5波の時には「原則自宅療養」という方針まで打ち出しました。「自助」の最たるものでした。

政府には「命が一番大事。窮地に陥っている人には手を差し伸べます」というメッセージを出して実行して欲しい。苦しみ、困っている人々に寄り添わず、科学的知見や根拠の乏しい対策を声高に叫ぶ政治はもう終わりにしなければなりません。

## 医療の眼

新型コロナウイルスは、日本の医療提供体制や公衆衛生体制があまりにも脆弱であることを浮き彫りにし、病床削減や保健所の統廃合など、これまで政府が進めてきた医療・社会保障政策が間違っていたことを明らかにしました。第5波では、入院できずに自宅で亡くなる方が、全国で200人以上にも上ると報道されました。医療が必要な人に自宅療養やホテル療養を強いる、自公政権が推し進めてきた「自助・共助」がはたかりました。

「分断」は許さない 生涯通じての対策を 日本医師会は、公的価格に関する意見書で「ある職種のみを厚遇する」と、チーム医療の分断に直結するそれがある」とし、予算委員会の議論については、コロナ拡大前から病院経営が大変厳しい経営状況に陥れながら「政府肝いりで進められている看護職員の収入の引き上げは、診療報酬改定とは別財源での対応が筋ではないか」と主張しています。

「一桁足りない」が現場の声 全労連・国民春闘共同委員会は、2022国民春闘の中で、看護師、介護職員、保健師、保育士などのケア労働者の賃金4万円以上の大幅引き上げを求め、底上げを図らせる「ケア労働者の大幅賃上げアクション」をスタートさせました。また愛知県医師会連では「すべてのケア労働者の賃上げを求める緊急オンライン署名」を始めました。

今回政府が示した引き上げ額の象徴として「一桁足りない」という現場の声や、「保育園は子どものいのちを預かる施設。人手が足りない。待遇改善が必要」「コロナが発生してから、外食も旅行も我慢している。感染と隣合わせなのに手当てで社会を支えている」など、ケア労働者からの悲鳴のような声がたくさん寄せられています。

コロナ禍を経て、「医療崩壊」が現実となった今、医療や介護の提供体制を拡充する必要性と、そのための人員増は、待ったなしの課題です。医療・介護現場のひっ迫を緩和するには働き続けられる条件がどうしても必要であり、そのために、現実を直視したまともな処遇改善計画を策定することを強く求めます。

## 現実を直視したまともな処遇改善計画の策定を！

22春闘に向け 政府が賃上げ方針? そんななか政府は、看護・介護・保育など、新型コロナウイルスへの対応の最前線で働く方々の収入の引き上げを含め、全ての職員を対象に公的価格の在り方を抜本的に見直します。民間部門における春闘に向けた賃上げの議論に先んじて、保育士・幼稚園教諭・介護・障害福祉職員を対象に、賃上げ効果が継続される取り組みを行うことを前提として、収入を3%程度(月額9千円)を引き上げるための措置を、2022年2月から前倒しで実施するとのこと方針を打ち出しました。

看護については、まずは、地域でコロナ医療な

ど一定の役割を担う医療機関に勤務する看護職員を対象に、賃上げ効果が継続される取り組みを行うことを前提として、段階的に収入を3%程度引き上げていくこととしています。収入を1%程度(月額4千円)引き上げるための措置を、来年2月から前倒しで実施した上で、来年10月以降の更なる対応について、令和4年度予算編成過程において検討し、必要な措置を講ずるとしました。

「分断」は許さない 生涯通じての対策を 日本医師会は、公的価格に関する意見書で「ある職種のみを厚遇する」と、チーム医療の分断に直結するそれがある」とし、予算委員会の議論については、コロナ拡大前から病院経営が大変厳しい経営状況に陥れながら「政府肝いりで進められている看護職員の収入の引き上げは、診療報酬改定とは別財源での対応が筋ではないか」と主張しています。

日本看護協会は、意見書で「生涯を通じて働くことのできる職業」とし、「各年齢層にわたる基本給引上げによるベースアップの実現」を求めるとともに、40代前半での看護職員と一般労働者の賃金格差月額7万円を解消するためには、ベースアップの実現が必要であると主張しています。

「一桁足りない」が現場の声 全労連・国民春闘共同委員会は、2022国民春闘の中で、看護師、介護職員、保健師、保育士などのケア労働者の賃金4万円以上の大幅引き上げを求め、底上げを図らせる「ケア労働者の大幅賃上げアクション」をスタートさせました。また愛知県医師会連では「すべてのケア労働者の賃上げを求める緊急オンライン署名」を始めました。

今回政府が示した引き上げ額の象徴として「一桁足りない」という現場の声や、「保育園は子どものいのちを預かる施設。人手が足りない。待遇改善が必要」「コロナが発生してから、外食も旅行も我慢している。感染と隣合わせなのに手当てで社会を支えている」など、ケア労働者からの悲鳴のような声がたくさん寄せられています。

コロナ禍を経て、「医療崩壊」が現実となった今、医療や介護の提供体制を拡充する必要性と、そのための人員増は、待ったなしの課題です。医療・介護現場のひっ迫を緩和するには働き続けられる条件がどうしても必要であり、そのために、現実を直視したまともな処遇改善計画を策定することを強く求めます。